

(平成 30 年 5 月 14 日受付)

子供の登下校について

■内容

友達数人や一人で登下校している子供をよく見掛けます。いくら田舎といえ、今の世の中何が起こるか分かりません。

通学路何か所かで父兄が毎日交代で見守ったり、集団登下校をしたりしてるのでしょうか。ボランティアでお元気なご年配の方に協力していただけるよう働きかけるなど、幼いお子さんを守っていかなくてはならない時代だと思います。

■回答

市では「明るい笑顔街いっぱい運動」として、毎月の初めの登校日に、保護者や地域の方にご協力いただき、小中学生の登下校の見守り活動を行っております。市一斉の活動は月に1回ですが、毎日行っている学校も少なくありません。

また、子供に危険が迫ったときに助けてもらえる「きしゅう君の家」の募集や、緊急の際の「きしゅう君の防犯メール」の登録推進を行っています。

他には、各課と西牟婁振興局・国土交通省・田辺警察が協力して、市内小中学校の通学路の危険箇所を点検する「田辺市通学路交通安全プログラム」を毎年実施し、横断歩道や信号機、グリーンベルトの設置や学校への危険箇所の周知、注意喚起を行っています。

各学校においては、毎年新1年生に対する交通安全教本を用いた安全学習、「きしゅう君の防犯下敷き」の配布、交通安全ポスターや交通安全年間スローガンの募集等で児童生徒に啓発しています。

また、市教育委員会では、毎年小学校新1年生全員に防犯ブザーを配布し、防犯に備えるとともに、年間を通して、田辺青少年センターが実施している街頭指導「自転車まな一あっぷ」や、交通安全街頭啓発に教職員が参加しています。

通学路を含め、児童生徒の安全については以上のような対策をしているところでありますが、今後も、子供の安全のため、様々な取組を続けるとともに、保護者や地域の方々にご協力をお願いしていきたいと考えます。

【学校教育課 指導係】